



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。

一般財団法人 ジェネシスジャパン 2024年12月10日
ニュースレター 第65号
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3652-306-3
電話 029-292-9621 ファックス 03-6862-8340
メール info@genesishjapan.com ホームページ genesishjapan.com

万物を保っておられる方



御子は、万物よりも先に存在し、
万物は御子にあって成り立っています。
コロサイ一章十七節

Adoration of the Shepherds by Dutch painter Matthias Stom, c. 1650

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

キリストの降誕を祝う

世界中でクリスマスが祝われる季節がやってきました。このクリスマスが聖書に書かれている、救い主キリストの降誕を祝う行事だということは、よく知られています。また聖書を信じている人は、キリストが救い主として御降誕されたと理解しています。

福音書には、キリストの降誕から復活までの出来事が記録されていて、キリストが救い主であることを明確に示しています。

しかし救い主であるという側面が強く意識されるあまり、キリストの他の側面が見過ごされていたり、重要視されていなかったりということはないでしょうか。

私はクリスチャンホームで育ち、子供の時から聖書に触れていたため、キリストが救い主であることはよく理解していましたが、それ以外の側面については、知識としては知っていてもあまり意識していませんでした。

しかし聖書的創造を伝える働きに携わるようになったことで、御

子が創造主であるという側面、またその他の側面の重要性も意識するようになりました。

そこでこのクリスマスの時、救い主以外の側面も考えることを通して、御子がどのようなお方かに今一度思いを潜めてみましょう。

万物よりも先に存在されている方

ヘブル語のエロヒムは、創造主訳聖書では「創造主」と訳され、それ以外の邦訳聖書では主に「神」と訳されています。



そして聖書は、世が造られる前から御子が御父と共におられたことを教えています。

父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。ヨハネ 17:24

これは十字架に架けられる前夜、キリストがゲッセマネの園に向かう前に御父に祈った内容です。キリストは世界の始まる前から御父と共にいた時のことを思い、御子を信じる者たちがその信仰に留まることで御子の栄光を見ることができるようにと願いました。私たちのために祈ってくださった御子の姿を、皆様も思い浮かべることができるでしょうか。

御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。コロサイ 1:17

ここでも御子が被造物より先におられたことが語られ、御子が最初から創造主として存在されていたことが教えられています。異端のエホバの証人などは、その教理において御子が創造主であることを否定し、聖書の真理から逸れてしまいました。御子が地上におられた当時のユダヤ人たちもイエス様を人としか考えず、創造主の御子であることを信じない人が多くいました。

ユダヤ人たちはイエスに向かって言った。「あなたはまだ五十歳になっていないのにアブラハムを見たのですか。」イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」ヨハネ 8:57-58



ゲッセマネの園

ここでキリストが告げられた『わたしはいる』は、ギリシャ語の『エゴ・エイミー』で、燃える柴のところでモーセが教えられた創造主の名です。

神はモーセに仰せられた「わたしは、『わたしはある。』という者である。」出エジプト記 3:14

これを聞いたユダヤ人たちはキリストが御自身を創造主だと語ったため、石打ちにしようとしたのです。日本語に訳されてしまうとこのことは伝わりませんが、キリストはご自身を指して繰り返しこの名を使われました。すなわち御自身が創造主だと告げられたのです。そしてユダヤ議会がキリストをピラトに引き渡す決定的罪状(ルカ 22:70-71)となったのもこのことでした。

ヨハネの福音書で『エゴ・エイミー』とご自身の名を告げられた7つの有名な箇所があります。

1. わたしはいのちのパンです。ヨハネ 6:48
2. わたしは、世の光です。ヨハネ 8:12
3. わたしは羊の門です。ヨハネ 10:7,9
4. わたしは、良い牧者です。ヨハネ 10:11
5. わたしは、よみがえりです。

いのちです。ヨハネ 11:25
6. わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。

ヨハネ 14:6

7. わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。ヨハネ 15:1

これらの箇所はすべて御自身を創造主だと語っている箇所です。このように、聖書はキリストが世の始まる前からおられた創造主の御子であり、御父から遣わされて人としてお生まれになった方だと教えているのです。

万物を造られた方

聖書は、万物を造られたのが御子であることを教えています。

なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。コロサイ 1:16

ここで創造主以外のすべて、すなわち、天と地とそこに含まれるすべて、御使いたちのすべても御子によって造られたことが告げられています。

また、ヨハネの福音書の最初に紹介されている『ことば』あるいは『この方』は、御子を指すことが知られています。創造主訳聖書ではこれを『キリスト』と意識しています。

ことばは神とともにあった。ことばは神であった。ヨハネ 1:1
キリストは創造主と共におられ、また創造主ご自身であられた。ヨハネ 1:1 (創造主訳聖書)
初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

ヨハネ 1:1-3

この箇所でも、万物が御子によって造られたことが語られています。また箴言 8章 8:22-36でも御子なる創造主がどのようなお方を教えています。

わたしは神のかたわらで、これを組み立てる者であった。

箴言 8:30

この30節では、御子が御父のかたわらで創造のみわざを行われていることが記されています。

創世記 1章では、父なる創造主が命令を発し、御子はその命令に従ってそれを完成させ、それを見て御父が「よし」と述べています。創造の第六日を例に見てみましょう。

ついで神は、「地は、その種類にしたがって、生き物、家畜や、はうもの、その種類にしたがって野の獣を生ぜよ。」と仰せられた。するとそのようになった。神は、その種類にしたがって野の獣、その種類にしたがって家畜、その種類にしたがって地のすべてのはうものを造られた。神は見て、それ

をよしとされた。創世記 1:24-25

いかがでしょうか。御父のかたわらで御子が創造されている様子が思い浮かばないでしょうか。御父と御子が一体となって創造されているのがわかります。

万物を保っておられる方

この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の全能者の右の座に着かれました。ヘブル 1:2-3

ヘブル書のこの箇所は、御子について「世界を造られた方」「万物の相続者」「創造主と同一な方」「万物を保っている方」「救いの完成者」「天の御父の右に着座された方」とその働きの様々な側面を語っています。その中で「その力あるみことばによって万物を保っておられます」の意味をさらに考えてみましょう。

科学者たちは自然界を研究し、理解しようと試みてきましたし、

現在も解明しようと努力を続けています。

現在は科学が発達し、かなり自然界の理解が進んだとはいえ、まだまだ未解明のことだらけです。

科学者たちは、何世紀もかけて自然科学の法則を発見してきました。エネルギー保存の法則、熱力学の法則、万有引力の法則など百以上の法則が見つかっています。これらの法則は、繰り返し実験しても同じ結果が出るのがわかっています。

進化論を信じる科学者たちは、この世界が自然に出現したと信じていますから、これらの法則が覆されることはありえないと考えています。

しかし、聖書が教えているのは、これらの法則も御子によって保たれているということです。それでは、御子もその法則に縛られているでしょうか。エアコンを例に考えると、エアコンが25度に設定されていれば、室温をほぼ25度に保つことができます。エアコン自体に温度を変える力はありませんが、使用する人は設定温度を自由にすることができます。それと同じように御子は自然科学の法則に干渉することができるのです。水の上を歩き、暴風雨を鎮め、



ベツレヘムの聖誕教会



死んで四日経ったラザロを甦らせました。

私たちにそのような力はなく、自然法則に干渉することはできませんが、万物を創造し、その法則を定めた御子はその法則に縛られずに働くことができます。私たちにとっては超自然的なことであっても、御子にとっては当たり前のことなのです。

今は御子によって万物が保たれています。御子が万物を保つのを止めたらこの世界はどうなるでしょう。聖書はやがてその時が来ることを教えています。

しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。2ペテロ 3:10

御子が万物を保つのを止める時、この出来事が起こります。そのことを考えると、自然界が保たれ、自然科学の法則がゆるがないのは、御子によって保たれているからだということがわかります。すなわち、私たちが日々生きることができるのも御子がすべてを保っていてくださるからなのです。

信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さない

でいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。ヘブル 12:2

これまで救い主としてお生まれになった御子がどのようなお方かを考えてきました。

この方は世の初めからおられた創造主の御子で、万物を造られ、万物を保っておられる方です。御子は御自身が造られた人を愛し慈しみ、罪を犯した人を救うために、人としてこの世に来られました。そして真理を教え、十字架の贖いを通して救いの道を備えられ、死んで三日目に甦り、父なる創造主の右に着座されました。今も私たちの友となり、共にいてくださるのです。(ヨハネ 15:15)

やがて御子は裁き主として来られ、この世は滅ぼされます。しかし御子の救いを信じる信仰を抱き続けた人は、新しく造られる天と地に住まいを与えられます。そして御子が私たちの王となってくださり、私たちは御子に導かれて歩むようになるのです。(黙示録 22:3-4)

このクリスマスの時、これらすべてのことを計画し、成し遂げられる創造主に心からの感謝をささげようではありませんか。

講義・イベント予定

2025年

■春の創造セミナー

日程：2025/3/27-29

会場：調整中

■創造を伝える働き人養成講座

*日程：2025/5/27-29

会場：北海道：洞爺湖町で調整中

*日程：2025/6/30-7/2

会場：高知県：高知市で調整中

■全アジア創造カンファレンス

日程：2025/8/21-23

会場：救世軍プレイズヘブン礼拝堂 (シンガポール)

ドン・バットン博士による

シンガポール植物園「進化論」ツアー

2026年

■創世記の爪痕を巡る旅

日程：2026/8/22-30を予定

(日程は多少変更になる場合がありますのでご了承ください)

行先：米国グランドキャニオン・デスバレー・マンザナー日本人キャンプ跡・ヨセミテ国立公園

詳細はジェネシスジャパンまで

献金のお願い

国内外に聖書的創造を伝えるため、ご支援をお願いします。

ジェネシスジャパン

ゆうびん振替 00350-7-3364

ゆうちょ銀行 10650-52405611

講座の目的と概要

- * 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる。
- * 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ。
- * 創造を伝えるために役立つ資料の提供。
- * 修了証授与 (全日程参加者)
- * 創造論を用いての個人伝道、CSや教会でのメッセージ、講演ができるよう協力。

(参加費等はお問い合わせください)

詳細はジェネシスジャパンまで

創造を伝える働き人養成講座

【募集要項】

聖書を創造主の言葉と信じる方。

イエス・キリストを救い主と信じる方。

創造を信じる大切さを伝えたいと願う方。